

フィンドレー大学 文化政策学部国際文化学科 3年生 田口実里

中間テストを無事に終えて、コーラスの授業でヨーロッパに行きました。約10日間かけてチェコ、スロバキア、オーストリアに行って、現地の大学生たちと一緒に歌ったり観光をしたりしました。

思い出したら語り切れないくらいの思い出ができました。人生でもう経験できないだろうなと思えるほどの貴重な経験をさせてくださった先生方や関係者の方々、家族、友達には感謝してもしきれません。自由に観光できる時間には同じコーラスの授業を履修しているアメリカ人の学生と一緒にいきたい場所をまわって、たくさん話してたくさん写真を撮りました。ネイティブの学生と同じグループになって観光することはかなり緊張していました。仲良くできるのか、たくさん気を使わせてしまうのではないかと心配していたからです。ですが、みんなほんとに優しく毎回「どこか行きたいところある？」と聞いてくれたり、なにかチケットを買う時には買い方を教えてくれたり迷子になりかけたとき電話をかけてくれたり、買ったスイーツやご飯を一口くれたりなど、これまでなかなか話したことのない学生と色々な話をし以前よりも仲良くなれてとっても嬉しかったです。この学生は性別の壁と年齢差の壁を本当に感じません。みんな本当の「友達」という感じがします。わたしはこの雰囲気が大好きです。わたしたち留学生にも現地の友達と同じように映画に誘ってくれたり、接してくれたりしたことが本当に本当に嬉しかったです。

1カ国目はチェコに行きました。個人的はチェコが一番好きでした。プラハの街並みがカラフルで大きくて規則正しく並んでいてとっても豪華でした。行く場所に必ずと言っていいほど、時計塔がたくさんあります。時間になると鐘がなって鳩時計のように人形が出てきます。それを見るために人が集まってきてカメラを回し始めます。多くの人が行きかうこの街の景色は昔から変わらないものなのだろうな、と思いながらそれを見ていました。伝統的な橋の上では、おじさんたちがそれぞれ楽器を持って演奏していました。自由にのんびりと過ごしている感じがとても好きでした。チェコの学生と初めて出会って、それぞれの言語の早口言葉や大学で学んでいることを話したり、英語を第二言語として話すことの難しさを共感し合ったりなど、色々な話をしました。チェコで新しい友達ができただけでもとても嬉しかったです。



2カ国目はスロバキアに行きました。スロバキアもチェコの街並みと少し似ていたけど、スロバキアのほうが人は少なく、街にも落ち着きがありました。チェコの子と再会し、一緒に観光したりご飯を食べたり、コーラスも一緒にしました。本当に幸せな時間でした。この日がチェコの子と過ごす最後の日でした。出会えたこと、一緒に歌えたことが本当に嬉しくて別れ際は泣きそうでした。色んな人がハグをしあって泣いて笑顔で別れました。歌っている時の指揮者の先生の姿や、聞こえてくるピアノの音、みんなの歌声、観客の方々の表情や拍手が今でも鮮明に思い出されます。もう一度このメンバーで、ジョン先生の指揮とスーさんのピアノで歌いたいです。



3カ国目はオーストリアに行きました。ずっと行ってみたいかったオペラに友達と行くことができました。会場の作りと、約3時間にわたる公演の迫力は言葉に表せられないほど壮大で迫力満点でした。人生初めてのオペラは最高の思い出となりました。オーストリアの街並みは近代的で、その中にも歴史的な建造物が残されていて面白かったです。飛行機とバスの移動、忙しなく続くコンサートとツアーで帰ってきたら体はへとへとなりましたが、本当に素敵な時間でした。眠たかったけど頑張って早起きして友達と街を散策してよかった、英語をがんばってきてよかった、素敵な人や景色に出会えてよかった、先生たちに出会えてよかった、そう思えた忘れられない春休みになりました。

